

## 平成 26 年度事業報告書

当センターは、地場産業振興の拠点施設としての役割・機能を果たすため、国・県および関係市町村、並びに関係諸団体との連携に努め、以下の事業を実施した。

本年度は、北陸新幹線開業年となることから、地場産業紹介機能の一層の充実を図り、消費者に対しわかりやすい地場産品情報の提供に努め、北陸新幹線の新高岡駅内のGALLERY MOMONO-FUにおいても伝統的工芸品の情報発信を開始した。

また、首都圏等で実施される県・市のイベントに参加し、地場産品の普及に努めるとともに、旅行エージェント等に対する誘客活動を積極的に実施した。その他、交流人口の増加を見据え、当センターが企画組織した「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」においては県内の伝統工芸産地と連携を図り、消費者ニーズを反映した商品開発に着手し、新たな需要開拓に取り組んだ。同委員会において開発された商品は、当センターが出展した「第 79 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2015」に同時出展し、業界と連携した販路開拓に努めた。

産学官連携事業では、クルン高岡駅のコインロッカーを地域の伝統工芸の漆で加飾し、高岡駅を利用される多くの方々に高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めるなど、地場産業にかかる情報提供・収集事業の一層の充実を図り、より効率的な事業運営にも努めた。

26 年度のバスの立ち寄り台数は 92 台で、昨年 (72 台) より 27.8%増加した。来館者数は、75,520 人で、昨年 (87,940 人) より 14.1%減少した。

一方、高岡市内の小・中学校の児童、生徒の「ものづくり・デザイン科」の実習及び見学を訪れた人数は 2,779 人で、昨年 (2,071 人) より 34.2%増加した。一般の方による体験学習の参加人数は 343 人で、昨年 (631 人) より大幅に減少した。

なお、資金の収支状況については次のとおりとなった。

事業活動収支については、事業収入では参加料等収入が 1,904 千円で、(対前年△693 千円) で 26.7%の減少となった。

施設使用料収入は 18,551 千円 (対前年 1,328 千円) で 7.7%の増加となった。主な要因としては、前年度の 4 F テナント事務所の入替に伴い、家賃収入が安定したことによるものであった。

施設使用料収入のうちの貸室収入については 7,008 千円となり、昨年 (8,524 千円) より 17.8%減少した。稼働率 (施設毎に、1 日 1 回以上の利用を 1 と数え、開館日数 (343 日) で除した率) は、34.0%となり、昨年 (34.5%) より 0.5%減少した。

販売事業収入については、展示即売売上では 27,299 千円 (対前年△4,705 千円、14.7%減) となり、仕入額が 19,862 千円 (対前年△3,086 千円、13.4%減) であったことから、販売手数料は 7,437 千円 (対前年△1,619 千円) で 17.9%の減少となった。D.front 手数料は 472 千円 (対前年△97 千円) であった。

平成 26 年度における事業活動収入計は 116,267 千円、事業活動支出計が 105,867 千円で

収支差額は10,401千円となった。

また、投資活動収支においては、投資活動収入計は1,469千円となり、投資活動支出計は3,191千円で収支差額は△1,722千円となった。投資活動収入の内容は建物等修繕に備えた積立の取崩しであった。投資活動支出の主なものは、計画中の3階トイレ改修工事、また、将来の支払いに備えた退職給付資産の積立、計画中の建物修繕のための積立などの特定資産取得支出であった。

さらに、財務活動収支においては、財務活動支出計が6,586千円で収支差額は△6,586千円となった。財務活動支出の内容は長期借入金の返済であった。

以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は2,093千円となり、前期繰越収支差額5,470千円を加えた次期繰越収支差額は7,563千円となった。

## 【公益目的事業】

### 1 地場産業拠点施設運営事業

#### (1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設改修及び清掃や修繕により、利用しやすい施設運営を図った。

#### (2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行うものについて、施設の貸出を行い、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

### 2 地場産業普及開拓事業

#### (1) 販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、首都圏における展示会「第79回東京国際・ギフト・ショー春2015」へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めた。併せて、当センターが企画組織した「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」を支援し連携することで、当センターが目的とする地場産業の振興と育成を図り、伝統的技術および商品の普及・PRの強化に努め、同委員会において開発された工芸品についても同時出展し、需要開拓に努めた。

#### 「第79回東京国際・ギフト・ショー春2015」

- ・日 時 平成27年2月4日(水)～6日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明3丁目21番地1号)
- ・出展数 23社、144点
- ・来場者数 全体で193,860人(会期中のお問い合わせ件数：94件)

## (2) 地場産業品普及事業

### ①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、高岡地域の地場産品のPRを行った。

#### ア「じばさんフェア「全国うまいもの市」」への出展

- ・日時 平成26年11月8日～9日
- ・場所 山口県<sup>ほうふ</sup>防府市 山口・防府地場産振興センター

#### イ「和歌山地場産フェア」への出展

- ・日時 平成26年11月15日～16日
- ・場所 和歌山県和歌山市 和歌山地場産振興センター

### ②市内公共施設での地場産品の展示・紹介

高岡商工会議所2階ロビーにおいて技術・技法を駆使したブロンズ像等や漆器作品を展示紹介して来館者への伝統的工芸品に対する理解を深め、PRに努めた。

### ③観光関連事業への参加協力

#### ア「ダイヤモンド・プリンセス（初入港）」への出向宣伝

- ・日時 平成26年4月29日
- ・場所 富山県高岡市 伏木万葉ふ頭岸壁

#### イ「加賀百万石まつり」への出展

- ・日時 平成26年6月7日～8日
- ・場所 石川県金沢市 金沢城公園

#### ウ「高岡市の観光と物産フェア」への出展

- ・日時 平成26年6月23日～27日
- ・場所 愛知県名古屋市 富山県名古屋事務所

#### エ「飛鳥Ⅱ」への出向宣伝

- ・日時 平成26年7月16日
- ・場所 富山県高岡市 伏木万葉ふ頭岸壁

#### オ「ひがしんビジネスフェア2014」への出展

- ・日時 平成26年7月23日

- ・場所 東京都墨田区 両国国技館

カ「謙信公祭り」への出展

- ・日時 平成26年8月23日～24日
- ・場所 新潟県上越市 上越市埋蔵文化センター

キ「富山県観光物産まつり」への出向宣伝

- ・日時 平成26年9月27日～28日
- ・場所 東京都千代田区 東京ステーションホテル

ク「ご当地グルメ&物産フェア」への出展

- ・日時 平成26年9月29日
- ・場所 東京都千代田区 大手町サウザンビル前

ケ「生活文化創造都市高岡地域会議」への出展

- ・日時 平成26年10月2日
- ・場所 富山県高岡市 ホテルニューオータニ高岡

コ「イトーヨーカ堂長野店」への出展

- ・日時 平成26年10月31日～11月1日
- ・場所 長野県長野市 長野電鉄長野駅

サ「おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交換会 2014in 東京」への出展

- ・日時 平成26年11月26日
- ・場所 東京都港区 ホテル日航東京

シ「高岡市おみやげ品試食・展示会」への出展

- ・日時 平成27年2月26日
- ・場所 富山県高岡市 高岡商工ビル

④高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

本館展示場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。季節ごとなどの企画展示を充実させ、より興味を深めてもらう方法を工夫しながら、来館者の増加に努めた。

#### ⑤「D. f r o n t」の運営

御旅屋通において伝統的工芸品を中心とした地場製品の企画展示を行い、地域内外の方々への情報提供に努めた。

#### (3) 来館者誘致事業

県内外の旅行エージェント等に対して地場製品や当センターの情報提供に努め、来館者の誘致に努めた。本年度は、新たに新高岡駅に開設した新高岡駅観光交流センターのGALLERY MOMONO-FUにおいて、当センターのポスターを掲示するなど、誘客に努めた。

#### (4) 地場産業情報提供事業

##### ①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページの改修を行い、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図り、産業や代表商品の魅力、使い方等がより具体的に紹介できるような内容に努めた。

##### ②高岡地域地場産業センター展示スペースを利用した情報提供

1階ロビーを活用し、伝統工芸高岡漆器協同組合の「高岡漆器展示会」(8/2～11)や、伝統工芸高岡銅器振興協同組合の「後継者育成事業作品展示会」(11/12～27)・「意匠開発事業作品展示会」(1/8～29)の開催、2階大ホールでは、富山県伝統工芸士展(8/9～11)の開催などにより情報提供を行った。

##### ③県内地場製品の情報提供を目途とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

### 3 人材育成事業

#### (1) 青少年育成事業

小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援するため体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高め、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援を行った。

##### ①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に次のとおり支援・協力を行った。

平成26年6月5日を初回に、年間21日間にわたって延べ19校(34クラス、1,002

名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学5年生17校(31クラス、936名)、小学6年生1校(1クラス、12名)  
錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学1年生1校(2クラス、54名)  
螺鈿貼りを実習

ウ 産業資料館の見学

小学5年生12校(49クラス、1,535名)、小学6年生6校(8クラス、142名)  
中学1年生2校(4クラス、100名)

② 教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日(6時間)の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数15名。漆器体験講座受講者数21名。

- ・漆器体験講座 平成26年7月30日(水)、8月4日(月) 午前9時～12時
- ・鋳物体験講座 平成26年7月30日(水)、8月4日(月) 午後1時半～4時半

(2) 工芸技術体験普及事業

広く一般市民に対し、工芸技術を体験できる機会を提供した。

- ・鋳物体験(ミニ水盤、ぐいのみ)の製作体験 20団体263人の参加
- ・漆器体験(ペンダント、ミニパネルなどの加飾体験) 6団体80人の参加

(3) 産学官連携事業

引き続き漆圃場において漆木の育成を行った。また、クルン高岡駅のコインロッカーを漆で加飾し、高岡駅を利用される多くの方々に対し高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めた。

① 漆木育成

- ・日 程 平成26年4月8日(火) 雪囲い外し
- 平成26年5月18日(日) 草刈り
- 平成26年5月25日(日) 江浚い1回目
- 平成26年6月1日(日) 江浚い2回目
- 平成26年7月27日(日) 草刈り

平成 26 年 9 月 23 日(火) 草刈り

平成 26 年 11 月 23 日(日) 雪囲い

・場 所 第 1、第 2、第 3 漆木実験圃場（高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近）

## ② クルン高岡駅コインロッカー漆加飾事業の開催

・連携団体 高岡市

株式会社 高岡ステーションビル

富山大学 芸術文化学部

伝統工芸高岡漆器協同組合

公益財団法人高岡地域地場産業センター

・配置場所 クルン高岡 古城公園口付近 コインロッカー（高岡市下関町 6-1）

・開催 平成 26 年 5 月 ・現場視察 [場所：クルン高岡]

6 月 ・会議（アイデア出し）、（デザイン案発表）

7 月 ・会議（パネルデザインの発表）、（全体構成の検討）

8 月 ・会議（パネル図案及び制作技法の検討）

9 月 ・会議（全体構成の最終確認）

（配置及びパネルサイズの確認）

10 月 ・会議（パネル素材、加飾技法の検討）

12 月 ・会議（制作方法及び日程調整）

平成 27 年 1 月 ・会議（今後の作業内容）、（作業進行状況の確認）、  
（制作スケジュールの再確認）

・制作開始

3 月 ・制作完了

・ロッカーへの施工

・お披露目会（3月8日）

## 4 地場産業支援事業

### (1) 商品開発支援事業

#### ① 商品開発支援

年 3 回のセット商品企画の継続・充実と、その展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

#### ② POS 管理によるマーケティング支援

展示場での販売実績による POS データを活用し、消費者ニーズの分析を行って業界へと還元した。

## (2) 産業支援事業

### ① 事務運営による団体支援

#### ア 高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して事務的支援を行った。

#### イ 富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する工芸士展の開催等に対して支援した。

第 18 回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・ 日 時 平成 26 年 8 月 8 日(金)～10 日(日)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター 2 階大ホール
- ・ 主 催 富山県伝統工芸士会

#### ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

##### (ア) 銅器に親しむつどい

- ・ 日 時 平成 26 年 7 月 27 日(日)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター 2 階鋳物工房
- ・ 内 容 「錫製バンゲル」の製作

##### (イ) 漆器に親しむつどい

- ・ 日 時 平成 26 年 8 月 2 日(土)～3 日(日)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター
- ・ 内 容 青貝塗り加飾の体験（ふでばこ）

##### (ウ) 越中和紙の体験教室

- ・ 日 時 平成 26 年 7 月 11 日(金)、11 月 7 日(金)、18 日(火)、21 日(金)、26 日(水)、12 月 18 日(木)
- ・ 場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・ 内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

##### (エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・ 日 時 平成 26 年 9 月 5 日(金)
- ・ 場 所 砺波市立砺波南部小学校
- ・ 内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験



(オ) 井波彫刻の体験教室

- ・日 時 平成 27 年 2 月 8 日(日)
- ・場 所 木彫りの里クリエート工房
- ・内 容 キーホルダー、飾り皿、お雛様

②その他団体に対する事務補助、支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

第 20 回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 26 年 9 月 13 日(土)～9 月 15 日(月)
- ・場 所 東京都上野 AKI-OKA
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

イ 高岡の伝統工芸品展

ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 26 年 9 月 12 日(金)～24 日(水)
- ・場 所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主 催 高岡巧美会（高岡市伝統工芸産業技術保持者）、高岡市

ウ 工芸都市高岡 2014 クラフトコンペティション実行委員会

工芸都市高岡 2014 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 26 年 10 月 2 日(木)～6 日(月)
- ・場 所 大和高岡店
- ・主 催 工芸都市高岡 2014 クラフトコンペティション実行委員会

エ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展、高岡漆器の歴史、技術、技法等を保存収集するための事業に対し支援を行った。

(ア)「第 44 回高岡漆器展示会」の開催

- ・日 時 平成 26 年 8 月 2 日(土)～11 日(月)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター1 階ロビー
- ・主 催 伝統工芸高岡漆器協同組合

(イ)「第 49 回全国漆品展」への出展

- ・日 時 平成 26 年 9 月 21 日(日)～29 日(月)
- ・場 所 福井県ビジネス支援センター ふくい南青山 291 2 階多目的ホール
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会、(一財)生活用品振興センター、越前漆器協同組合

(ウ) 高岡漆器の歴史、技術、技法等の保存収集

- ・実施期間 平成 26 年 4 月 1 日(火)～平成 27 年 3 月 31 日(火)

オ 越中おもてなし工芸品展開実行委員会

消費者・小売店等のニーズ調査を実施し、調査内容を反映した試作品開発に取り組んだ。開発した試作品は国内最大規模の見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に出展し、バイヤー等の意見聴取と広報に努めた。

「第 79 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2015」

- ・日 時 平成 27 年 2 月 4 日(水)～6 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 21 番地 1 号)
- ・出展数 15 社、299 点
- ・来場者数 全体で 193,860 人(会期中のお問い合わせ件数：67 件)

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

入居者が快適に利用できるよう適宜清掃や修繕を行い、施設の環境整備に努めた。

2 施設貸出事業

館内環境の整備につとめ、ホール・会議室とも一層の利用率向上に努めた。

3 一般品目販売事業

施設利用者の便に供するような飲料品、観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の 1 割を目安に取り扱いを継続した。

## 【管理事業（法人会計）】

### 1 理事会・評議員会の開催

センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

#### （1）理事会

- ア ・第1回開催 平成26年5月14日（水）  
・主な審議内容 平成25年度事業報告・収支決算等
  
- イ ・第2回開催 平成26年6月2日（月）  
・主な審議内容 副理事長（代表理事）の選定（みなし決議）
  
- ウ ・第3回開催 平成27年3月27日（金）  
・主な審議内容 平成27年度事業計画・収支予算等

#### （2）評議員会

- ・第1回開催 平成26年5月28日（水）
- ・主な審議内容 平成25年度収支決算、役員・評議員の選任

### 2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。

- 総会 ・日時 平成26年7月17日(木)
- ・場所、主催 (一財)燕三条地域地場産業振興センター